

＝ 浅間連峰の南麓 陽だまりの里 ＝

令和6年  
(2024)

東北信地方唯一の伝承地芝居

# 祢津東町歌舞伎公演

演目

子ども歌舞伎

## 土蜘蛛退治

祢津東町歌舞伎保存会

## 忠臣蔵七段目

— 祇園一力茶屋の場 —

日時

### 四月二十九日(月)

小雨決行(昭和の日)

場所

祢津日吉神社境内

## 東町歌舞伎舞台

(文化十四年建築)



(祇園一力茶屋の場)

### 日程

開場 午前10時 (入場無料)

◆三番叟 ..... 10:30

◆土蜘蛛退治 ..... 11:00

(祢津小学校子ども歌舞伎クラブ)

◇開会式

◇いのちのひととき ~心にのこる名曲をBGMで~

◆忠臣蔵七段目 ..... 13:00

— 祇園一力茶屋の場 — (祢津東町歌舞伎保存会)

閉場 午後2時30分 (予定)

【交通案内】 上信越自動車道、東部湯の丸I.Cより5分

主催：祢津東町区  
祢津東町歌舞伎保存会  
後援：東御市  
東御市教育委員会  
東御市文化協会  
祢津地域づくりの会



❖ごあいさつ❖

本年四月二十九日、野天の棧敷席にチヨン、チヨンと橋（拍子木）が鳴り響きます。「柵津東町歌舞伎公演」の開幕です。新型コロナウイルスの影響で三年間連続休演という苦渋の決断を経て、四年ぶりに再開した昨年に続き本年も令和になって二回目の公演が開催の運びとなりました。新型コロナウイルス・インフルエンザ等、一抹の不安を覚える状況下ではありますが、緩やかな対策のもと、開催出来まことは継続の重要性からこの上ない喜びです。主催側としまして、改めましてご支援・ご協力を頂きました市当局をはじめ関係各位に心より厚く感謝と御礼を申し上げます。

この先も私ども東町区民一同、新たな時代に向かって、先人たちの残した郷土の宝である貴重な伝統文化の継承発展に努めて参る所存であります。今後ともより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。八重桜に加えて新緑が映える野天の棧敷席で。

柵津東町区長 坂口文則  
柵津東町歌舞伎保存会長 金井 勝

三番叟 松村 悠 輔

柵津小学校子ども歌舞伎クラブ

土蜘蛛退治

【第一幕 足柄山、第二幕 源頼光の館、第三幕 葛城山中、第四幕 土蜘蛛の古塚】

（あらすじ）

平安時代半ば（今から約千年前）、相模の国（今の神奈川県）足柄山には怪力と噂の高い童、金太郎が母親と隠れるように住んでいました。そこに木こりの貞蔵がやってきます。貞蔵は、金太郎の母より、亡き夫は將軍源頼光候に仕えた坂田藏人という侍で、夫の遺言に従い金太郎を立派な侍に育てるために足柄山に住んでいることを聞きます。貞蔵は実は將軍の家臣碓井貞光で、金太郎の力を見極めた貞蔵は、金太郎を坂田公時として將軍の家臣に召し抱えることを約束します。

將軍の家臣（四天王）となった公時は、碓井貞光、渡辺綱、卜部季武、重臣の柵津甚平、柵津小五郎と一緒に、重い病にかかった將軍の頼光を守つていきます。ある晩、不思議な座頭がやってきます。この座頭こそが日本の国を魔界にしようとする妖怪土蜘蛛だったので。妖術を使って頼光を殺そうと

するが、逆に頼光に斬りつけられ、蜘蛛の糸を撒き散らして逃げていきます。かくして四天王は將軍と共に土蜘蛛退治に出かけることとなり、番卒たちも手柄を立てようと勇んでやって来るもの、土蜘蛛の妖力を聞いた番卒は怖じけ付け。巢の中から土蜘蛛が現れ再び糸を撒き散らし、家臣たちを身動き出来ないようにさせてしまう。そこで公時は天下無敵の大まさかりを振り回し、土蜘蛛と立ち廻りをおこない、土蜘蛛を倒します。とどめをさした頼光と仲間たちは、力強く勝ちどきをあげるのです。

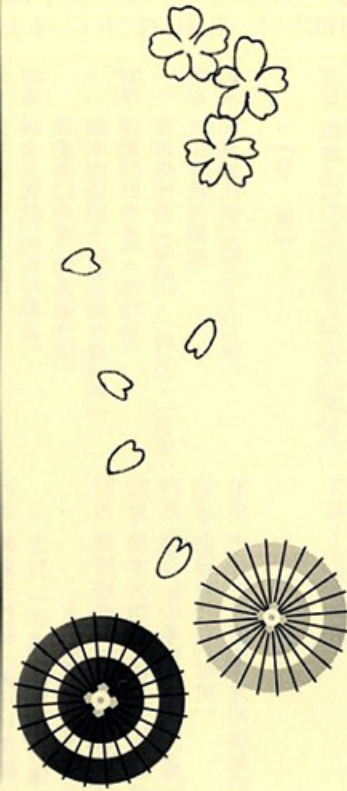
【配役】

- 土蜘蛛……………六川 友輔（中二）
- 座頭 空の市……………岡崎 権（小六）
- 源頼光……………北澤 璃海（中二）
- 金太郎……………塩川 玲生（小六）
- 坂田公時……………坂井 翔真（中二）
- 木こりの貞蔵……………宮澤 菜梨（中二）
- 碓井貞光……………白石 愛実（中二）
- 渡辺綱……………荻原 美咲（中二）
- 卜部季武……………桜井 美陽（小六）
- 柵津甚平……………塚原明香里（小六）
- 柵津小五郎……………佐野 綸那（小六）





金太郎の母……齋藤 楓 (中一)	番卒4……伊藤 灯彩 (小六)
次平……柳沢 彩音 (小六)	番卒5……神津ひまり (小五)
武蔵……横山 太一 (小六)	番卒6……齋藤 大翔 (小五)
番卒1……櫻井 結斗 (小六)	番卒7……鈴木 美讚 (小五)
番卒2……小林 明来 (小六)	番卒8……北澤 星那 (小五)
番卒3……齋藤 結人 (小六)	番卒9……白石 悠華 (小五)



糸津東町歌舞伎保存会  
 忠臣蔵七段目  
 一 祇園一力茶屋の場

(あらすじ)

塩治家お取り潰しから半年程過ぎた秋のこと。塩治家家老大星由良之助は敵方の目をくらますため、祇園の「一力茶屋」で遊興にふけています。そこへ由良之助の息子・力弥が顔世御前からの密書を届けました。二階の窓辺では、遊女となった早野勘平の女房・お軽が酔いを醒ましています。お軽は、由良之助が読み始めた手紙を好奇心から手鏡に映して読み取ろうとします。縁の下では斧九太夫が下へ垂れ下がった文面を読んでいます。気が付いた由良之助は、密事を知ったお軽を殺すつもりで身請けを持ちかけます。お軽の兄・寺岡平

右衛門は、身請けの真意を察し、手柄を立てて仇討の供に加えてもらおうと妹に斬りかかります。驚くお軽は父・与市兵衛の死と、夫・勘平の切腹を聞かされ、覚悟を決めました。まさに刀が振り下ろされようとするところを由良之助が制止して平右衛門を供に加えます。お軽には刀を持たせて縁の下の九太夫を一突き。傷を負った九太夫を引きずり出して打ち据えた後、平右衛門に賀茂川へ連れ出して殺すよう命じる由良之助でした。

【配役】

大星由良之助……柳沢 武彦	寺岡平右衛門……丸山 等
遊女お軽……小林 常夫	大星力弥……鈴木 絵美
斧九太夫……柳沢 俊幸	鷺坂伴内……米澤 暢夫
赤垣源蔵……倉島慶一郎	富森助右衛門……飯高 昭男
竹森喜多八……岩井 純	茶屋の仲居……柳沢ヒサ子
義太夫……坂口 文則	三味線……鶴澤 弥吉
義太夫指導……鶴澤 蟻鏡	振付指導……益子 輝之
指導・協力……市川鏡十郎社中	後見・裏方……東町歌舞伎保存会の皆様





# = 上演のあゆみ紹介 = ①【祢津東町歌舞伎保存会】

祢津東町歌舞伎保存会には寛延4年(1751)6月銘のある「踊大小入」という木箱が伝えられています。東町の回り舞台が建てられた文化14年(1817)よりも60有余年前の木箱です。寛延4年は祢津日吉神社の再建された年であり、おそらく、それを記念しての歌舞伎上演の時の諸道具入れの木箱であろうと考えられます。そうなりますと、約260年の伝統をもつ「祢津東町歌舞伎」となります。時代の流れの中にあつて、中断を余儀なくされたこともありましたが、「舞台仕込み帳」などによって、多くの演目が公演され、伝承されてきたことを伺い知ることができます。昭和に入り、記録に残されている上演のあゆみをまとめると次のとおりです。

## ◇ 昭和時代以降の上演演目 ◇

(注)○○の段・場等の文字は略し「」で記す。

- |   |  |
|---|--|
| 元年 御大典にて休止<br>2年 神靈矢口の渡「八郎物語」<br>3年 神靈我対面「工藤館」<br>4年 加羅先代萩<br>5年 鎌倉三代記<br>6年 奥州安達原三段目<br>7年 ひらかな盛衰記<br>8年 鬼一法眼三略巻<br>9年 絵本太功記<br>10年 仮名手本忠臣蔵「祇園一力」<br>11年 本朝廿四孝<br>12年 一谷嫩軍記<br>13年 源平布引滝<br>14年 恋女房染分手綱「重の井子別れ」<br>15年 土蜘蛛<br>16年 大江山<br>17年 大久保彦左衛門<br>18年 忠臣蔵「判官切腹」<br>19年 鎌倉三代記「網川村閑居」<br>20年 神靈矢口の渡「頓兵衛住家」<br>21年 絵本太功記十段目「尼ヶ崎閑居」<br>22年 神靈矢口の渡「八郎物語」<br>23年 加羅先代萩「御殿」・「対決」・「刃傷」<br>24年 近江源氏先陣館<br>25年 加羅先代萩「床下」・「刃傷」<br>63年 〔平成〕<br>2年 絵本太功記十段目「尼ヶ崎閑居」<br>3年 菅原伝授手習鑑「寺子屋」<br>5年 一谷嫩軍記「熊谷陣屋」<br>8年 加羅先代萩(女性による歌舞伎)<br>9年 加羅先代萩「上田公演」<br>10年 奥州安達原三段目「袖萩祭文」<br>11年 鎌倉三代記「網川村閑居」 | 12年 加羅先代萩「名古屋公演」<br>13年 加羅先代萩「御殿」<br>14年 絵本太功記十段目「尼ヶ崎閑居」<br>15年 奥州安達原三段目「袖萩祭文」<br>16年 絵本太功記十段目「尼ヶ崎閑居」<br>17年 一谷嫩軍記「熊谷陣屋」<br>18年 鎌倉三代記「網川村閑居」<br>19年 御所桜堀川夜討「弁慶上使」<br>20年 絵本太功記十段目「尼ヶ崎閑居」<br>21年 菅原伝授手習鑑「寺子屋」<br>22年 加羅先代萩「御殿」<br>23年 奥州安達原三段目「袖萩祭文」<br>24年 一谷嫩軍記「熊谷陣屋」<br>25年 忠臣蔵七段目「力茶屋」<br>26年 鎌倉三代記「網川村閑居」<br>27年 御所桜堀川夜討「弁慶上使」<br>28年 絵本太功記十段目「尼ヶ崎閑居」<br>29年 菅原伝授手習鑑「寺子屋」<br>30年 加羅先代萩「御殿」<br>31年 奥州安達原「環宮明御殿の場」 |
|---|--|



東町歌舞伎のホームページはこちらから

## ②【祢津小学校子ども歌舞伎クラブ】

祢津小学校子ども歌舞伎クラブは、平成10年に誕生しました。祢津地区の東町及び西宮区の伝統芸能である地芝居(歌舞伎)に興味のある子どもたちが集まってできたクラブです。この地域に根づく歌舞伎を通じた学校と地域の交流は、将来、地域の文化の受け継ぎ者という面からもその意義は大変大きいと思います。県下でも特色あるクラブとして活動が注目されています。東町歌舞伎舞台における上演のあゆみは次のとおりです。また、平成26年には長野県県民文化会館での出演機会を頂き、大舞台での上演体験もさせて頂きました。

## ◇ 上演演目 ◇

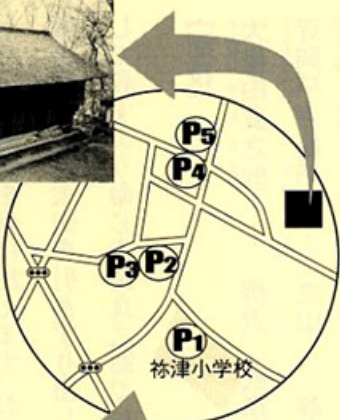
- |  |   |
|--|---|
| 22年 「白浪五人男」<br>21年 「勸進帳」<br>20年 「土蜘蛛退治」<br>19年 「義経千本桜」<br>18年 「忠臣蔵」<br>17年 「白浪五人男」<br>16年 「勸進帳」<br>15年 「義経千本桜」<br>14年 「先代萩」<br>13年 「土蜘蛛退治」<br>12年 「忠臣蔵」<br>11年 「勸進帳」<br>10年 「白浪五人男」<br>9年 〔平成〕 | 23年 「忠臣蔵」<br>24年 「義経千本桜」<br>25年 「土蜘蛛退治」<br>26年 「白浪五人男」<br>27年 「勸進帳」<br>28年 「忠臣蔵」<br>29年 「義経千本桜」<br>30年 「土蜘蛛退治」<br>31年 「白浪五人男」<br>〔令和〕<br>2年〜4年 休演<br>5年 「義経千本桜」 |
|--|---|



(東町歌舞伎舞台)

### 臨時駐車場

- P1: 祢津小学校グランド
- P2: 祢津公民館
- P3: 祢津保育園
- P4: JA祢津店
- P5: 長命寺駐車場



■お問い合わせ：祢津東町歌舞伎保存会事務局(金井)携帯090-4758-6269  
 〒389-0506 長野県東御市祢津1822 TEL/FAX 0268-62-3789